

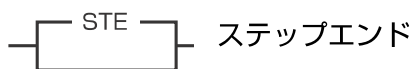
## STP



ステップ

指定したビットデバイスがONのとき、STEまでの命令を実行します。

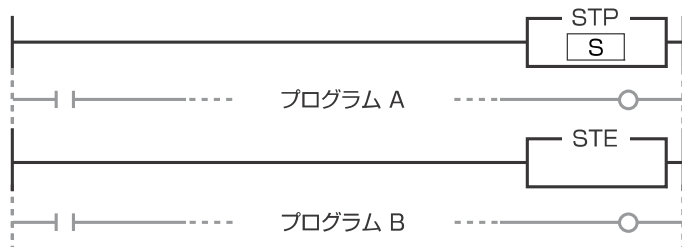
## STE



ステップエンド

STP命令と対で使用し、ステップするプログラムの終了を示します。

ラダープログラム



入力方法

S T P [ ] S [ ]

S T E [ ]

オペランド	使用可能デバイス ( ): KV-1000は対応していません																	インデックス 修飾		
	ビットデバイス							ワードデバイス※ <sup>1</sup>							定数	間接指定	ローカル デバイス			
	R	(DR)	MR LR (B)	T	C	CTC	CR	DM TM (W)	EM FM (ZF)	T	C	CTH	CTC	Z	CM	#/\$	#TM		*	@
S	○	-	○	○	○	○※ <sup>3</sup>	○	○	○※ <sup>2</sup>	-	-	-	-	-	○	-	-	○	○	○

オペランド	説明
S	STP命令からSTE命令間のプログラムの実行条件となるデバイスを指定します。※ <sup>1</sup>

※<sup>1</sup> ワードデバイスを指定した場合は、最下位ビットを扱います。

ワードデバイスのビット指定は使用できません。

※<sup>2</sup> KV Nanoシリーズでは、EM、FM(ZF)は使用できません。

※<sup>3</sup> KV-7000シリーズでは、CTCは使用できません。

## 動作説明

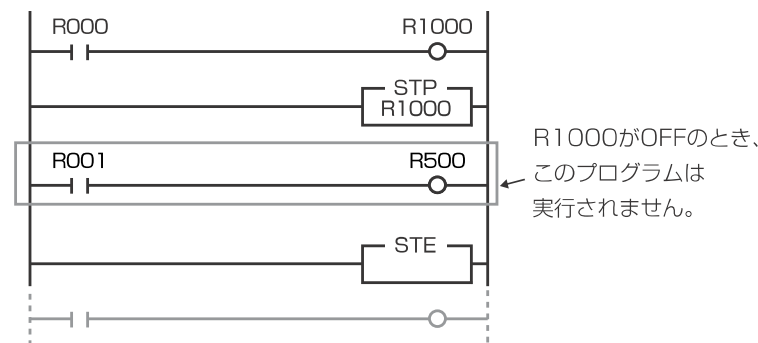
[ S ] で指定したデバイスがONのとき、STP命令からSTE命令間(プログラム A)を実行します。

[ S ] で指定したデバイスがOFFのときは、STP命令からSTE命令間のプログラムは実行されず、STE命令の次(プログラム B)にジャンプします。

例

入力R000がONのとき、入力R001のON/OFFに連動して出力R500がON/OFFします。入力R000がOFFのときは、入力R001がONしても出力R500はONしません。

また、R001、R500が共にONのままR000をOFFすると、R001をOFFしてもR500はONのままです。



！ポイント

- 実行されていないSTP命令からSTE命令間はスキャンタイムに影響しません。
- STP ~ STE 命令間に微分実行型命令やタイマ命令、マクロ命令を使用するときは注意が必要です。

📖 「微分実行型命令を使用するときの注意」(1-35ページ)

📖 『KV-7000シリーズ ユーザーズマニュアル』「タイマ命令使用時の注意」

📖 『KV-5500/5000/3000シリーズ ユーザーズマニュアル』「タイマ命令使用時の注意」

📖 『KV-1000シリーズ プログラミングマニュアル』「タイマ命令使用時の注意」

📖 『KV Nano シリーズ ユーザーズマニュアル』「タイマ命令使用時の注意」

📖 「マクロ命令」(3-44ページ)

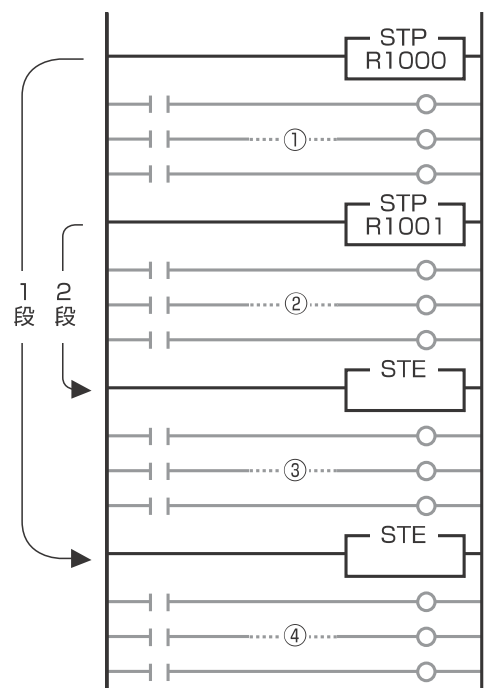
## ネスティング構造について

STP, STE命令は、16段までネスティング(入れ子構造)できます。

右記のプログラムの場合、R1000がOFFのとき①②③は実行されず、④から実行されます。

R1000, R1001が共にONのときは、①②③④の順に実行されます。

R1000がON、R1001がOFFのときは①③④の順で実行され、②は実行されません。



## 演算フラグ

CR2009	変化なし
CR2010	変化なし
CR2011	変化なし
CR2012	間接指定またはインデックス修飾の範囲が不適切な場合はON、それ以外はOFF。 オペランドに間接指定、インデックス修飾を指定していない場合は変化しない。

※ CR2012がONした場合、STP命令からSTE命令間のプログラムは実行されません。

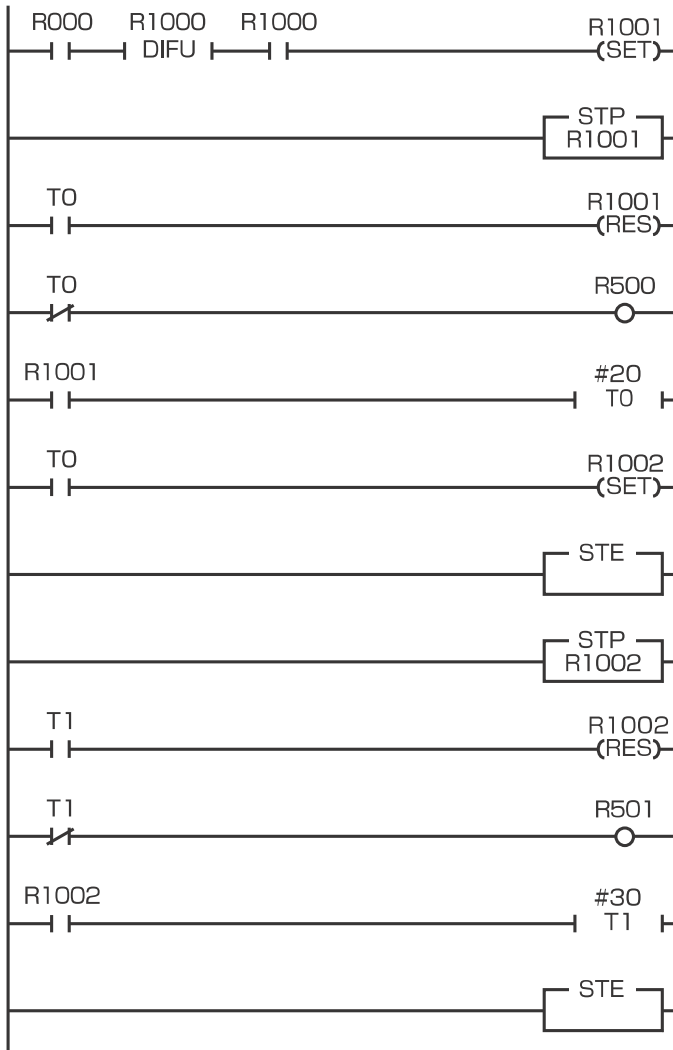
〔KV-7500/7300/5500/5000/3000〕 CR2012がONした場合、CM5150～CM5176にエラーの詳細情報が格納されます。

〔KV Nanoシリーズ〕 CR2012がONした場合、CM2250～CM2276にエラーの詳細情報が格納されます。

📖 「CR/CM一覧」(付-71ページ)

## サンプルプログラム

入力リレーR000がONすると、自動的に出力リレーR500が2秒間ONし、続いてR501が3秒間ONします。



〈ニモニックリスト〉

```
LD R000
DIFU R1000
CON
AND R1000
SET R1001
STP R1001
LD TO
RES R1001
LDB TO
OUT R500
LD R1001
TMR #0 #20
LD TO
SET R1002
STE
STP R1002
LD T1
RES R1002
LDB T1
OUT R501
LD R1002
TMR #1 #30
STE
```